

13. 庄内こども園保護者への「魅力ある学校づくり構想」の検討状況説明会・質疑応答（概要）

○日 時：平成 28 年（2016 年）12 月 15 日（木）17 時 30 分～

○場 所：庄内こども園

質問・意見等	豊中市からの回答
資料には校舎の例が掲載されているが、今回の新しい学校の校舎を建設するのに、いくらかかるのか、金額はわかっているのか。	今回の説明資料にある校舎の例は、あくまで見込まれる児童生徒数が、想定している庄内小学校、千成小学校の敷地に施設一体型小中一貫校の校舎を建設した場合、安全かつ快適に学校生活を送ることができるかチェックすることを目的に作成したものであり、資料のような校舎をそのまま建てるわけではありません。新しい学校の校舎の整備については、計画が定まってから検討していくことになります。 新しい学校を建設する費用については、現段階では具体的な金額を算出していませんが、全国の市町村で建設されている校舎の事例、施設一体型小中一貫校の建設事例等が多数ありますので、これらを参考にすることができると考えています。実際に建設する段階では、国からの補助金等の様々な制度の利用が可能であるため、豊中市の負担をできるだけ抑え、なおかつ、魅力的な校舎を建設していきたいと考えています。
今回の新しい学校は、建て替えをするのか。島田小学校は数年前に耐震工事をしたところなのに、もったいないのではないのか。	今回の新しい学校では、施設一体型の小中一貫校、つまり、小学生と中学生が同じ敷地内で安全に過ごせるように、また、小中一貫校ならではの特色ある教育活動が行えるように、施設面での工夫が求められますので、既存の校舎を利用するのではなく、建て替えが必要であると考えています。 耐震工事につきましては、今学校で過ごしている子ども達の安全が第一ですので、これまで豊中市内の小中学校の耐震化を順次進めてきました。 島田小学校の耐震工事は、今日の構想案を考慮し、プレハブ校舎等に変更しています。既に減築した校舎につきましても、今後、利活用する方向で検討することとしており、できるだけ無駄にならないようにしたいと考えています。
平成 32 年度(2020 年度)から、北校が開校する、ということなのか。	現在の想定では、平成 32 年（2020 年）に野田小学校敷地に、庄内小学校と島田小学校の子どもたちが移り、新たな小中一貫校（北校）の小学校、第十中学校の敷地に第六中学校の子どもたちが移り、新たな小中一貫校（北校）の中学校、として開校することとしています。これはあくまで想定であって、まだ決まったものではありません。 今後、保護者、地域の皆さまのご意見をお伺いしながら、検討していきたいと考えています。

**跡地は公園にするのではなく、入札して売却してほしい。
これまで公共施設になることが多かったので、民間への
売却も進めてほしい。**

ご意見として持ち帰らせていただきます。